

[illegible]

機能	
機能ID	機能名
1	ログインログアウト

処理ロジック	
1.入力処理	1.1 Inputクラスを実行し、「ログインID」と「パスワード」を変数へ代入する
2 ログインチェック処理	1.1 ログインチェックオブジェクトに入力値「ログインID」と入力値「パスワード」を渡し、ログインチェック結果を取得する
	1.1-a ログインチェック結果が"真"の場合
	1.1.1 ログイン認証処理を行う。
	1.1-b ログインチェック結果が"偽"の場合
	1.1.1 エラー処理 1 を行う。
3 ログイン認証処理	1.1 Daoオブジェクトに入力値「ログインID」と入力値「パスワード」を渡し、DBを参照する。そして結果をEntityオブジェクトで取得する。
	1.1-a Entityオブジェクトが存在する場合
	1.1.1 操作選択画面処理を実行する。
	1.1-b Entityオブジェクトが「null」の場合
	1.1.1 エラー処理 1 を行う
4 操作選択画面処理	1.1 アクセス権限確認
	1.1-a アクセス権限確認の値が「1」の場合
	1.1.1 操作選択画面(在庫管理者用)を表示する
	1.1-b アクセス権限確認の値が「2」の場合
	1.1.1 操作選択画面(販売管理者用)を表示する
5.ログアウト処理	1.1 セッションを削除する
	1.2 ホーム画面に遷移

DBアクセス		
通番	論理テーブル名	カラム名
1	user_info	user_id/pwd/name/auth

エラー処理	
通番	エラー処理
1	画面設計書のエラー対応表参照

機能	
機能ID	機能名
2	商品登録

処理ロジック

1.入力処理

- 1.1 「商品ID」、「商品名」、「商品画像」、「数量」、「単価」を変数に代入
- 1.2 「登録」ボタンを押した場合、商品登録処理を実行

2.商品登録処理

- 1.1 商品チェックオブジェクトに「商品ID」の値を渡し、DBを参照する。
 - 1.1-a 「商品ID」が存在しない場合
 - 1.1.1 商品登録処理を行う
 - 1.1-b 「商品ID」が使用されている場合
 - 1.1.1 エラー処理1を行う
- 1.2 item_infoテーブルに「商品ID」、「商品名」、「商品画像」、「単価」の数値を登録
- 1.3 stock_infoテーブルに「商品ID」、「数量(在庫数)」の数値を登録
- 1.4 処理が完了次第、「登録完了」とポップアップ表示

3.画面遷移処理

- 1.1 「戻る」ボタンを押した場合、各管理者操作画面へ遷移

DBアクセス

通番	論理テーブル名	カラム名
1	item_info	item_id/item_name/item_img/price
2	stock_ifo	item_id/stock_quant

エラー処理

通番	エラー処理
1	「商品IDが既に使われております。」とポップアップ表示

機能	
機能ID	機能名
3	商品閲覧

処理ロジック	
1.商品一覧表示処理	
1.1 item_infoテーブルの各カラム値を取得	
1.1-a DBにデータがない場合	
1.1.1 エラー処理1を実行	
1.1-b DBにデータがある場合	
1.1.1 処理を続行	
1.2 item_infoテーブルのitem_idとFKしているstock_infoテーブルのstock_quantの値を取得	
1.3 表のそれぞれ対応する欄に取得した値を挿入	
2.商品編集処理	
1.1 「変更」 ボタンが押された場合、編集対象のデータを表から選択	
1.2 選択された値に付随するテーブルデータを変数へ代入	
1.3 商品編集画面へ遷移	
1.3 商品編集削除機能の商品編集処理を実行	
3.商品削除処理	
1.1 「削除」 ボタンが押された場合、削除対象のデータを表から選択	
1.2 選択された値に付随するテーブルデータを変数へ代入	
1.3 商品編集削除機能の商品削除処理を実行	
4.画面遷移処理	
1.1 「戻る」 ボタンが押された場合、各管理者操作画面へ遷移	

DBアクセス		
通番	論理テーブル名	カラム名
1	item_info	item_id/item_name/item_img/price
2	stock_info	item_id/stock_quant

エラー処理	
通番	エラー処理
1	「商品データがありません」と表示

機能	
機能ID	機能名
4	注文登録

処理ロジック	
1.入力処理	
1.1 「注文ID」、「ユーザーID」、「商品ID」、「数量」を変数に代入	
2.IDチェック処理	
1.1 注文チェックオブジェクトに「注文ID」の値を渡し、DBを参照する。	
1.1-a 「注文ID」が重複する場合	
1.1.1 エラー処理1を行う	
1.1-b 「注文ID」が重複場合	
1.1.1 処理を続行	
1.2 商品チェックオブジェクトに「商品ID」の値を渡し、DBを参照する。	
1.1-a 「商品ID」が登録されている場合	
1.1.1 注文登録処理を行う	
1.1-b 「商品ID」が登録されていない場合	
1.1.1 エラー処理を行う	
3. 注文登録処理	
1.1 order_infoテーブルに「注文ID」、「ユーザーID」、「商品ID」、「数量」の値を追加	
1.2 stock_infoのstock_quantの数値を更新	
1.2.1 stock_quantの値を取得	
1.2.2 取得した値から入力された「数量」の数を引く	
1.2.2-a 結果がマイナスになった場合	
1.2.2.1 エラー処理を行う	
1.2.2-b 結果が整数の場合	
1.2.2.2 処理を続行	
1.2.3 結果の値をstock_quantに挿入	
1.3 処理が完了後、「登録完了」とポップアップ表示	

DBアクセス		
通番	論理テーブル名	カラム名
1	order_info	order_id/user_id/item_id/order_quant
2	stock_info	item_id/stock_quant

エラー処理	
通番	エラー処理
1	「入力された商品がございません。IDを確認してください。」とポップアップ表示をする

機能	
機能ID	機能名
5	注文閲覧

処理ロジック
<p>1.注文一覧表示処理</p> <p>1.1 order_infoテーブルの各カラム値を取得</p> <p>1.1-a DBにデータがない場合</p> <p>1.1.1 エラー処理1を実行</p> <p>1.1-b DBにデータがある場合</p> <p>1.1.1 処理を続行</p> <p>1.2 表のそれぞれ対応する欄に取得した値を挿入</p> <p>2.注文編集処理</p> <p>1.1 「変更」ボタンが押された場合、編集対象のデータを表から選択</p> <p>1.2 選択された値に付随するテーブルデータを変数へ代入</p> <p>1.3 データ編集画面へ遷移</p> <p>1.3 注文編集削除機能の注文編集処理を実行</p> <p>3.注文削除処理</p> <p>1.1 「削除」ボタンが押された場合、削除対象のデータを表から選択</p> <p>1.2 選択された値に付随するテーブルデータを変数へ代入</p> <p>1.3 注文編集削除機能の注文削除処理を実行</p> <p>4.画面遷移処理</p> <p>1.1 「戻る」ボタンが押された場合、各管理者操作画面へ遷移</p>

DBアクセス		
通番	論理テーブル名	カラム名
1	order_info	order_id/user_id/item_id/order_qua
2	stock_info	item_id/stock_quant

エラー処理	
通番	エラー処理
1	「注文データがありません」と表示

機能	
機能ID	機能名
6	編集削除

処理ロジック	
1.編集処理	<ul style="list-style-type: none"> 1.1 各閲覧機能の編集処理で取得した変数の一覧を表示 1.2 編集対象の値を変更 1.3 編集した値を変数へ代入、DBの対応したデータの値を上書き <ul style="list-style-type: none"> 1.3-a 編集データが商品情報の場合 <ul style="list-style-type: none"> 1.3.1 処理の続行 1.3-b 編集データが注文情報の場合 <ul style="list-style-type: none"> 1.3.1 編集前のorder_quantから編集後のorder_quantの数値を引き変数に代入 1.3.2 stock_infoのstock_quantに変数の数値を加算し、結果の値をstock_quantに上書き 1.4 「編集完了」とポップアップ表示 1.5 各一覧画面へ遷移
2.削除処理	<ul style="list-style-type: none"> 1.1 各閲覧機能の削除処理で取得した変数の一覧をポップアップ表示 1.2 ポップアップ上で削除、キャンセルの確認 <ul style="list-style-type: none"> 1.2-a 削除が選択された場合 <ul style="list-style-type: none"> 1.2.1 対象のテーブルのカラムを削除 1.2.2 「削除完了」とポップアップ表示 1.2.3 削除処理のポップアップを閉じる 1.2-b キャンセルが選択された場合 <ul style="list-style-type: none"> 1.2.1 「キャンセルしました」とポップアップ表示 1.2.2 削除処理のポップアップを閉じる

DBアクセス		
通番	論理テーブル名	カラム名
1	item_info	item_id/item_name/item_img/price
2	oreder_info	order_id/user_id/item_id/order_qua
3	stock_info	item_id/stock_quant

エラー処理	
通番	エラー処理
1	